

1年間を終えて

在校生の皆さんへ

今日は久々の登校日でした。皆さんの晴れやかな表情を見て非常に穏やかな気分になれました。皆さんの中には、今回の臨時休校は余りにも急なことで戸惑っている人もいたと思います。また、その関係で皆さんにとっても大切な卒業式に出席を控えてもらったこと、この場を借りてお詫びします。既にHPでもお伝えしたように、皆さんの先輩は立派に巣立っていきました。皆さんはぜひ先輩の思いを大切に引き継いでもらいたいと思っています。

さて、本日は、1年間頑張ってきた皆さんにとってけじめとなる終業式ができませんでしたので、ここで簡単に私の思いを伝えます。

まず一つは皆さんへの感謝の思いです。以前にも伝えましたが、私自身15年ぶりに本校に戻ってきました。正直のところ、期待とともに不安を持ってのスタートでした。それは、来年度百周年を迎える伝統ある母校で、しかも素晴らしい皆さんに、どうすればより充実した高校生活が送ってもらえるかという不安でした。しかし、その不安は日を追うにつれて少なくなっていきました。日々の皆さんの何事にも一生懸命で前向きに取り組む姿勢が私を勇気づけてくれたからです。そこで、まずは1年間皆さんと一緒に無事に学校生活を送ることができたことに対して、皆さんに感謝します。ありがとうございます。

もう一つは、今できることを考え、取り組んでほしいということです。私は皆さんに、始業式や終業式で「違った見方や考え方は自分を救い、自分の人生を豊かにする」と話してきました。確かに今回の状況に不便を感じている人も多いと思います。中には「外出も控えなければならず、何もできないからつらい」と感じている人もいます。しかしここは「何もできない」ではなく、「今だからこそできること」を見つけ、それに取り組んでももらいたいと思っています。

その一つが自分と向き合うことです。今後自分はどのような進路を進んでいくのか、どのような人生を送りたいのか。この時間を利用してじっくりと考えてください。そのためにはゆっくりと本を読むことも重要です。また、自分の将来を考えることで、与えられた課題が自分のものと捉えられ、より有意義なものになるはずです。ぜひ今回の機会をより有効に活用してください。

最後に、今のところ予定通り4月8日に始業式を行う予定ですが、状況により変更があるかもしれません。引き続きHP等で学校の状況を確認してもらうとともに、何か不安な事や悩み事があった場合には、遠慮なく学校に電話し、先生方に相談してください。

それでは、また新学期に皆さんの元気な顔を見られることを期待します。そして100周年を迎える本校にとっても、皆さんにとっても充実した年度にしていきましょう。

令和2年3月26日

虎姫高等学校 校長 梅本 剛雄